

# 議会 だより

平成27年  
第3回定例会

発行 田原本町議会  
編集 議会編集委員会

平成27年田原本町議会「第3回定例会」が9月4日から15日まで12日間の日程で開かれました。開会日の9月4日には寺田町長が提出議案について説明。会期中、各議案について慎重に審議が行われ、9月15日に閉会しました。

## 議案概要

### 《報告を受けた案件》

○平成26年度田原本町健全化判断比率の報告

地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づき当該年度の健全化判断比率の4指標について、実質赤字比率・連結実質赤字比率は黒字で該当せず、また実質公債費比率6・5%（前年度対比0・8ポイント改善）、将来負担比率43・8%（同0・5ポイント改善）であることを報告するもの

○平成26年度田原本町資金不足比率の報告

地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づき当該年度の水道事業会計及び公共下水道事業会計に關する資金不足比率は該当しなかったことを報告するもの

### 《可決・認定した議案》

○平成26年度田原本町水道事業会計未処分利益剰余金の処分について

平成26年度の未処分利益剰余金2億5754万997円のうち、600万円を減債積立金に、4099万7528円を建設改良積立金に積み立て、残額2億1054万3469円を資本金に組み入れるもので、地方公営企業法第32条第2項の規定により議会の議決を求めるもの

○平成27年度田原本町一般会計補正予算（第2号）

認知症高齢者グループホーム等の開設準備経費、施設等整備促進に対する補助金及び清掃工場の焼却炉耐火物等の修繕料を増額補正するもの

○田原本町個人情報保護条例の一部を改正する条例

「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」（番号法）が本年10月5日

に施行されることに伴い、個人番号を含む個人情報の適正な取り扱いに關し、必要な事項等を定めるための所要の改正を行うもの

○田原本町手数料条例の一部を改正する条例

「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」の施行に伴い、通知カード及び個人番号カードの再交付手数料を定めるとともに、交付、再交付が終了する住民基本台帳カードの手数料に關する規定を削除するため改正を行うもの

○田原本町道路線の認定及び廃止について

3路線の認定と1路線の廃止をするもので、道路法の規定により議会の議決を求めるもの

○国保中央病院組合規約の変更について

組合の機動的運営を図るため、責任と権限を有する常勤の副管理者を新たに設置するとともに、組合構成町の意向を反映し、適正かつ円滑な組合運営を図る組織体制とするため、組合議会の議員の選出方法を構成町の議会に委任するとともに、副町長等で構成する経営協議会を新たに設置するもの

○平成26年度田原本町各会計歳入歳出決算の認定について

地方自治法第233条第3項及び地方公営企業法第30条第4項の規定により、監査委員の意見を付けて議会の認定に付すもの

委員7名で構成される決算審査特別委員会を設置し、各会計歳入歳出決算及び関係する議案について審査を行った。（決算の詳細は広報10月号を参照してください。）

○田原本町議会議規則の一部を改正する規則

男女共同参画を考慮した議会活動を促進するため、議会における女性議員の欠席の届け出の取り扱いに關して、出席に伴う欠席規定を追加するもの

### 《採択とした意見書の概要》

第3回定例会で採択した意見書は以下のとおりで、国へ提出しました。

意見書	提出議員
地方創生に係る新型交付金等の財源確保を求める意見書	古立憲昭議員

### 《不採択とした意見書の概要》

意見書	提出議員
平和安全法制関連2法案の廃案を求める意見書	吉田容工議員

## 《同意した人事案件》

○教育委員会の委員の任命につき議会の同意を求めることについて

氏名 上田喜代子氏

任期 平成27年9月22日から

平成31年9月21日まで

## 各委員会審査の状況

(質疑から抜粋)

### 《総務文教委員会》

**質問** 田原本町個人情報保護条例の一部を改正する条例について、「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」(番号法)の施行に伴う改正とのことであるが、今回の改正の中に町独自の条項はあるのか。

**回答** 番号法その他関係法令の趣旨・規定によって改正を行うもので、町独自の条項はない。

**経過報告** 「中学校給食の早期実施を求める請願」の処理経過については、設置された「中学校給食検討委員会」について、委嘱された委員、諮問を行った事項、開催された第1回・第2回の委員会の進捗状況及び今後の予定について報告を受けた。

**報告** 田原本町人口ビジョン及び田原本町まち・ひと・しごと創生総合

戦略の策定に向け設置された委員会の委員の名簿、経過及び今後の予定等について報告を受けた。

**報告** 「町有施設の屋根貸し太陽光発電」実施事業について、再生可能エネルギーの普及拡大を推進するため、町有施設の屋根を有償で貸し出し、事業者が太陽光発電設備を設置し発電を行う事業の実施に向け検討を行う旨の報告を受けた。

### 《厚生建設委員会》

**質問** 清掃工場について、今回の補修以外で平成29年3月末までに必要な補修の見込みはあるのか。

**回答** 大きな補修見込みは現在無いが、施設の老朽化が進んでおり故障等が発生した場合は必要に応じて補修を行う。

**質問** 今回の補正予算により整備される施設、内容について

**回答** 認知症対応型共同生活介護(認知症高齢者グループホーム)、定期巡回・随時対応型訪問介護看護の2事業を行うもの(秦庄地内)と、認知症対応型共同生活介護、小規模多機能型居宅介護、定期巡回・随時対応型訪問介護看護の3事業を行うもの(平田地内)の2事業者に対する開設準備経費及び施設等整備促進に係る補助金である。

**質問** 国保中央病院組合規約の変更

について、新たに設置する経営協議会の構成・人数は。

**回答** 今の時点で各組合構成町の副町長4名、常勤の副管理者、病院の事務に通じた事務部長や常勤の職員等で構成し、人数については7、8名での運営を考えている。

### 《唐古・鍵遺跡整備検討特別委員会》

**担当課から報告** 唐古・鍵遺跡整備工事の進捗状況について、体験・学習ゾーンの二次造成を行い、広場や園路の整備中である旨の報告を受けた。

唐古・鍵遺跡に愛着をもっていただくことを目的に、10月に史跡公園内楼閣の西側において、大型建物跡の柱を建てる体験イベントを行う予定である旨、史跡公園でのさまざまな活用のサポーターとして「史跡公園ボランティア」の第1期生の募集を開始した旨の報告を受けた。

また、史跡公園に関連する交流促進施設の整備の進捗状況について報告を求め担当課より説明を受けた。

### 《清掃工場建設検討特別委員会》

**担当課から報告** やまと広域環境衛生事務組合が施工中の新焼却施設建設並びに町施工の中継施設建設の進捗状況については、計画どおりであるとのこと。

中継施設建設については、本年11月末の完成を目指し取組んでいるとの報告を受け、現地視察を実施し、主要設備等の説明を受け、進捗状況を確認した。

中継施設完成予想図



### 審議内容を見ることができません

町ホームページに、本会議の審議内容を掲載しています。  
※平成19年第1回臨時会から平成27年第2回定例会まで掲載しています。

# 町政を問う



このコーナーは本定例会での発言等に基づいて、各議員の責任により原稿の提出を受けたものです。

## 辻 一夫 議長

今年の夏は猛暑日が続き厳しい暑さでありました。この議会日より発行される11月には、秋空の爽やかな季節になっていると思います。

さて、9月定例会では毎年前年度の決算について審査を行います。今定例会では決算審査するため7名の議員による特別委員会を設置し、理事者より決算内容の説明を受け質疑を行い、適正に執行されたかを審査いたしました。

また、条例案等の10案件と議員発議の意見書等3件について審議を行い、一般質問については5名の議員より行われました。

## 阪東 吉三郎 議員

介護施設で入所者に対する虐待・暴力が行われた事例がテレビ等で報道されているが、本町での未然防止のための指導監督について尋ねた入所者からの通報等があれば町から

施設に連絡をとり、調査を行い、報告書を提出させ、許可権者の県と連携して指導・監督を行い、未然防止については施設の職員等への研修実施と定期的な文書指導により対応するとの回答を得た。

プレミアム商品券交付が今後行われるときは高齢者や低所得者等並んで購入しにくい者に対する交付方法の改善、小・中学校のトイレの洋式化の促進、健民グラウンドの排水悪化の改善等を要望する。

## 森井 基容 議員

総務文教委員会にて、今定例会に提出された「田原本町個人情報保護条例の一部を改正する条例」について説明を受けました。本年10月5日に施行されるいわゆる「番号法」に伴い改正されるもので、関係法令等との整合性をとるための提案です。「番号法」における「特定個人情報」等は、より広範な概念で、個人情報保護の観点や被害の甚大性の観点から、従前の罰則規定よりも重くなっています。スムーズな制度移行と個人情報流出等の問題発生がないようお願いしながら賛成しました。

## 安田 喜代一 議員

総務文教委員会にて、地方版総合戦略を策定するため8月に田原本町ま

ち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会を設置したと報告がありました。私も農業委員会を代表し委員として参画しています。将来の人口減少（流出）問題に対応するため、若い世代の就労場所の確保、子育てしやすい環境の実現等、平成31年度までの5カ年の計画を今年度中に策定する予定です。計画策定にあたっては、将来にわたり活力ある地域社会の維持につながることを、施策を進める上では国等の補助金を有効活用し、持続的に取組むことが重要と考えます。

## 森 良子 議員

不法投棄と粗大ゴミについて一般質問しました。不法投棄を防ぐ新たな対策はありますかの問いに、不法投棄が頻発する場所があれば、一時的に監視カメラの設置を考えているとの答弁でした。

またベッドのスプリングを外すことは大変困難な作業なので、そのまま粗大ゴミに出せないかという問いには、焼却後、スプリングが搬出設備に詰まったり、また破砕処理をした場合、破砕機に絡まり故障の原因になることから分別する必要がある、そのままでは収集出来ないとの答弁でした。

## 古立 憲昭 議員

●「生活困窮支援制度」について  
生活に困っておられる人々に対し本町はどの様に寄り添うのかを問う。

●「改正水防法」について  
「内水氾濫」対策の法制化に基づき、本町の寺川河川東側が大雨で浸水する事が多い、これは内水氾濫では、町の考えを聞く。

●「買い物弱者」について  
高齢化等により日常の買い物困難な方が増えている、国は本格的に支援に取組んでいるが、町の対応を聞く。

## ●総務文教委員会

本来町が行うべき事業でボランティア団体等の協力で実施している事業など、より協力を得るため、協力団体への町施設使用料の減免の見直しを問う。

## 西川 六男 議員

寺田町長が昨年11月の選挙で「中学校給食を実施する」と公約して選出され、教育委員会は8カ月後の本年7月に中学校給食検討委員会を設置しました。

その審議について質問すると「実施に係る課題など5項目を諮問した。本年度中に答申を頂き、町長部局で実施に向け検討する」との答弁でした。

たが、これまでの答弁と同様に実施時期を明言しませんでした。

「町長が公約した以上、町民の期待に心えるよう1日も早く取組むべきである」「速やかに審議し現在の6年生が中学校で給食を食べられるよう、ここ2年ほどで実施するよう」に再度求めました。

### 竹邑 利文 議員

決算審査特別委員会委員長として各議員と共に疑義に力点をのいた質疑・精査に努め慎重に審査しました。

中学校給食については中学校給食検討委員会の答申が来年2月に出される予定とのこと。早期実施にむけ取組んでいただきたい。

水道事業に関して現在県営水道受水率は約50%となっているが、平成30年を目処に県営水道の一本化を目指すしたいとの答弁を得た。

定住自立圏に関して天理市との協定について再質問したが、本町にはメリットは無いので今後も協定は考えていないと町長の答弁であった。住みやすい町だ。町民の生活向上をどうされるのか。

### 吉田 容工 議員

一般質問で、都市計画税の廃止を求めました。都市計画税は目的税です。都市計画事業に要する費用に充

てるため、その事業による利益を受ける人に負担を求める税金です。都市計画税を何に使っているのか？

「都市計画事業は下水道事業のみ」という答弁でした。平成十五年には調整区域の下水道事業が増えたことを受けて税率が引下げられました。その後さらに調整区域にシフトしています。負担の公平に反する、広陵町は都市計画税を取らずに都市計画を実施していると、町長に迫りましたが、「廃止は考えておりません」住民より既得権優先！

### 植田 昌孝 議員

今期定例会で設置された決算審査特別委員会にて、町の課税誤りによる固定資産税の過払いについて、件数、金額や原因について質問し、住民の信頼を裏切ることのないよう、チェック体制の強化等再発の防止を求めました。また、下水道の未整備地域、いわゆる「飛び地」の整備方針について質問したところ、本年度に汚水処理基本構想を策定し、来年度以降構想に基づき整備を進めていくとの回答があり、地震により下水道が使えなくなる場合も想定し、下水道のみの整備にこだわらず、合併浄化槽の整備についても検討するよう求めました。

### 松本 美也子 議員

「災害に強いまちづくりについて」以下3点を一般質問しました。  
(1)洪水ハザードマップの活用について  
(2)避難所運営ゲームHUGの活用について  
(3)住民による避難所ごとの避難訓練運営訓練について

(1)、(3)について、自主防災組織と連携を図り進めていくと、(2)について、町職員や自主防災組織リーダー等を対象に活用していくとの答弁があり、早急な実施を強く要望しました。

唐古鍵遺跡整備検討特別委員会では、史跡公園の管理運営計画の早期作成（平成28年度中）及び史跡公園ボランティア養成講座の対象者に、小・中学生や高校生も加えることの2点を要望しました。

### 小走 善秀 議員

(1)総務文教委員会では、「国は地方創生に力を入れ、多くの補助金交付事業を発表している。これについて補助金活用予定の事業はあるか」と尋ねたが、「無い」との回答。国の補助事業を積極的に活用するよう指摘した。

(2)平和安全法制廃案を求める内容の意見書が共産党議員から提案された。

日本を取り巻く安全保障環境が劇的に変化し、生活や経済に重要な影響を与えるシーレーンが危機に直面、中国の脅威が迫る中で、日米安保を真に機能させ、抑止力を高め、戦争を起こさせないため平和安全法制が必要で、断固反対である旨討論し、否決となった。

### 吉川 博一 議員

唐古鍵遺跡整備検討委員会では、史跡公園整備の経過報告を受けました。現在、体験学習ゾーンとなる唐古池南側の工事が進行中で、ここには大雨の時に一時的に雨水を貯留し時間をかけて排水する調整池機能が整備されるとのことです。

また、弥生時代の体験学習を目的に、史跡公園から出土した大型建物の柱跡を参考に、柱を建てる疑似体験が10月に行われること、「史跡公園ボランティア」の第1期生の募集についての報告を受けました。このような体験・活動の事業が、郷土の歴史に興味を持つきっかけや、郷土愛の育成に繋がればと思います。

### 議会を傍聴してみませんか

次回定例会は、12月上旬に開催します。

### 問い合わせ先

議会事務局（☎34・2119）